

L型 亀有マスター 77J カムシャフト

L型77度の最高峰iカムプロフィールの急激な立ち上がりスピードをそのまま活かし、カムリフトを9.3mmに抑えることでノーマルバルブに対応しました。ビックバルブやシートリング入れ替えなどの大きなコストを掛けことなくビッグパワーを発生できる亀有独自のプロフィールを採用。

「カムシャフトセッティング要領」

①バルブスプリングの選択

- カムシャフトはスプリングとのマッチングが重要です。9.3mmリフトに必要なセット荷重フル荷重をベストにセッティング可能な、kameari 9000rpm対応バルブスプリングをご使用ください。
- ※バルブスプリングの推奨取付長さは40.0~40.8mmです。純正品の1.0mmワッシャーの下に別売りの0.5mmや0.8mmワッシャーの追加が必要な場合があります。全力所の取付長を測定のうえご判断ください。

②バルブリセスのチェック

- ヘッドガスケット及びシリンダーヘッド装着時のバルブ全閉位置から、ピストン上死点時のリセス面までの距離を測定してください。
- IN:8.3mm EX:8.3mm 以上の間隔が保たれていればOKです。間隔不足の場合は、バルブリセスの追加工やヘッドガスケットの厚み変更などの対策が必要です。

③ロッカーガイドの選択

- ノーマルヘッド(純正バルブでノーマル付き出し)の場合は、4.75mmのロッカーガイドをご使用ください。
- 但し、カムホルダースペーサー使用の場合は、4.75mmにスペーサー厚みをプラスしたガイド厚みをお選びください。

④バルブタイミングの調整

	カムリフト	バルブクリアランス	レバー比	バルブリフト	開(1mmリフト)	閉(1mmリフト)	中心角	ベースサークル
IN	9.3mm	0.3	1,465:1	13,4~13,7mm	上死点前 33° ~ 下死点后 52°		99.5°	φ 29
EX	9.3mm	0.3	1,465:1	13,4~13,7mm	下死点前 55° ~ 上死点后 30°		102.5°	φ 29

注記)新品のタイミングチェーンをご使用の場合は、タイミングを予め2度早めてください。
タイミングチェーンが馴染んでくるとタイミングが2度遅れます。

- カムを組み付けしたらロッカーアームを1番シリンダーのみに取り付けしバルブクリアランスを0.30mmに調整して下さい。その後エンジンをゆっくり手で回してピストンとバルブの干渉がないか確認して下さい。
- 干渉がない事が確認できたら、上記の値を狙ってバルタイを行ってください。だいたい近いところまでバルブタイミングが終わったら残りのロッカーアームを取り付けて最終的なバルタイ微調整を行ってください。
- 分度器を読む時はタイミングチェーンが回転方向にテンションがかかっている状態にしてください。テンションを緩めると2-3度戻ります。

⑤バルブクリアランス調整

- クリアランス調整時は、カム山を一ヶ所づつ上に向けてから調整を行ってください。
- エンジンが完全に冷えている時に下記の冷間時の値にクリアランスを調整し、エンジン始動後に適温までエンジンが暖まってから温間時の値になっていることを確認して下さい。

冷間 0.20 ~ 0.23mm 温間 0.27 ~ 0.3mm (IN,EX同じ)

ご注意

- 本品は、他社製のバルブスプリングとの組み合わせで使用されますと、本来の性能が出ない事が有ります。
- 本品は、レース専用部品のため、一般公道での使用はできません。又、本品に関する事故やトラブル等のクレームには一切お受けできませんので、予めご了承ください。
- 亀有マスタープロフィールは、当社独自のコンセプトによって開発されたものです。無断でコピーや販売などを行うと法律違反に問われますのでご注意ください。



埼玉県八潮市緑町 3-1-16
株式会社 亀有エンジンワークス
TEL 0489-98-2323 FAX 0489-97-9085